

多治見市

「子どもの権利に関するアンケート調査」結果

☑ ダイジェスト

多治見市は、平成15年に「**多治見市子どもの権利に関する条例**」を制定し、子どもたちが多治見市で安心して自分らしくいきいきと生活できるように様々な取組を行っています。このアンケートは、子どもの権利についての意識と課題を把握することを目的として市民を対象に実施しました。今回の調査は4年ぶり6回目の調査です。過去の調査結果も交えながら、特徴的な点をダイジェスト版としてまとめました。アンケートの結果をみて、子どもの権利について一緒に考えてみましょう。

「多治見市子どもの権利に関する条例」とは…

子どもの権利とは、すべての子どもが、心身ともに健康に、自分らしく育つための権利です。多治見市子どもの権利に関する条例は、子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)に基づいて、「子どもの最善の利益」を第一に考えながら、子どもの権利の保障を図るために定められました。<詳しくは市のホームページをご覧ください。>

調査の概要

調査期間 令和5年8月2日～8月22日

調査対象 住民基本台帳から無作為に抽出した1,500人

①子ども…10～17歳の子ども 750人(小学5年生～高校3年生相当)

②おとな…0～17歳の子どもをもつ保護者 750人

調査内容 自己肯定感、自分の時間、居場所、不登校、いじめ、児童虐待、ヤングケアラー、悩み、相談、意見表明、子どもの権利条例・事業

回収率 子ども…44.1% おとな…51.7%



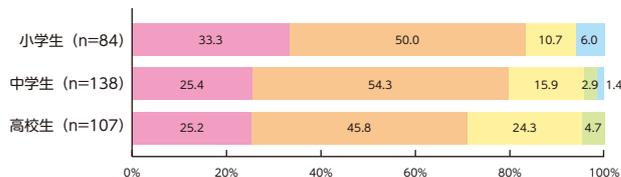
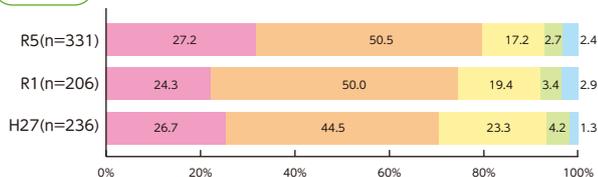
1 子どもの自己肯定感(自分自身を大切に思える気持ち)

■自分のことが好きな子どもは77.7%

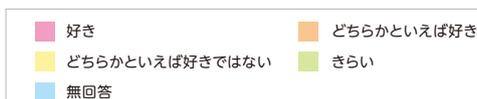
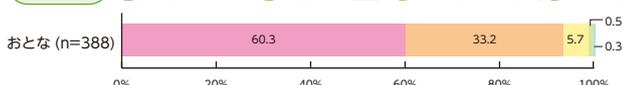
「自分のことが好きか」という設問に対して、子どもは「好き」「どちらかといえば好き」と回答した割合が77.7%と、平成27年度、令和元年度の調査と比べて上昇しました。一方、おとなが思う子どもの自己肯定感は93.5%と、子ども自身の自己肯定感と比べて高くなっています。

「第3次子どもの権利に関する推進計画後期計画」(令和3年度～令和6年度)では、子どもの自己肯定感78%を目標としており、引き続き、子どもの自己肯定感の向上をめざします。

子ども 自分のことが好きか



おとな 子どもは、子ども自身のことが好きだと思うか

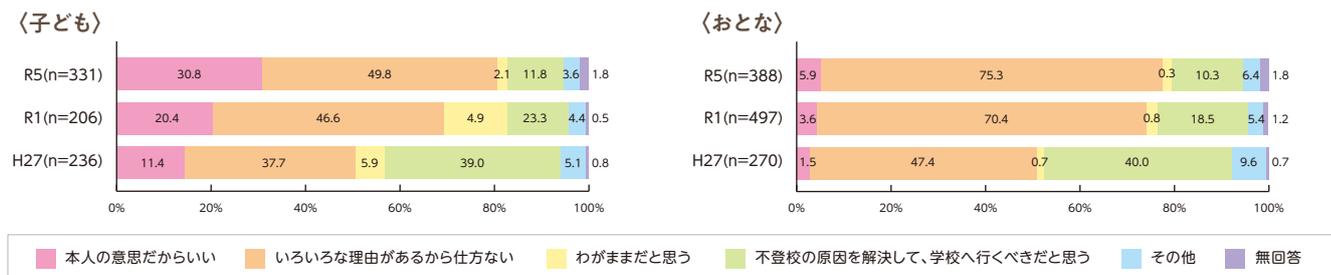


2 学校生活やいじめ等に関することについて

■不登校は「いろいろな理由があるから仕方ない」が上昇傾向

不登校について子どもは、「いろいろな理由があるから仕方ない」や「本人の意思だからいい」が上昇傾向にある一方で、「不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う」は低下傾向にあります。おとなも子どもと同様に「いろいろな理由があるから仕方ない」が上昇傾向にある一方で、「不登校の原因を解決して、学校へ行くべきだと思う」は低下傾向にあります。

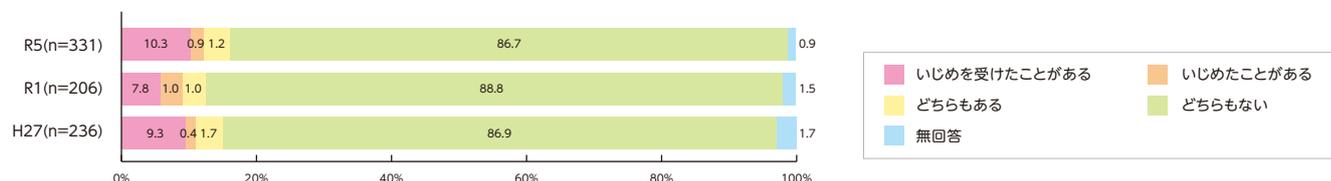
子ども おとな 不登校についてどう思うか



■いじめを受けたことがある子どもは10.3%

いじめについて、「いじめを受けたことがある」と回答した子どもの割合は10.3%となっています。いじめの苦しさについては、「学校や仕事に行くのがイヤになるくらいの苦しさ」、「苦しいというほどではないが、『イヤだなあ』という気持ち」が比較的多くなっています。

子ども いじめを受けた/いじめたことがあるか(直近1年間)

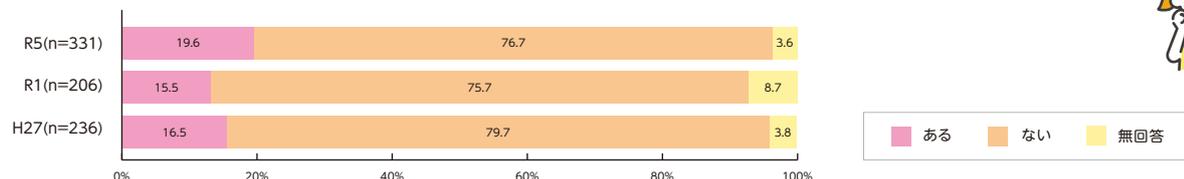


3 体罰や児童虐待について

■おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことがある子どもは19.6%

おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことが「ある」と回答した子どもの割合は19.6%となっています。具体的な内容は、「心が傷つくようなことを言われた」が最も多く、言われた相手としては「学校の先生」や「親(保護者)」が挙げられています。

子ども おとなのことばや行為で大変いやな思い、苦しい思いをしたことがあるか

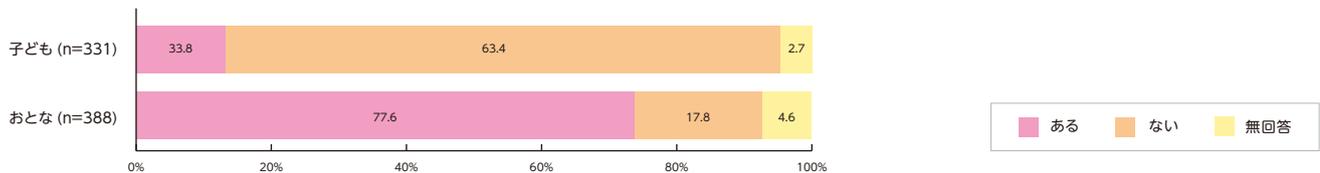


4 ヤングケアラーについて

■ヤングケアラーの認知度 子ども33.8% おとな77.6%

ヤングケアラーという言葉を知ったことがある子どもは33.8%、おとなは77.6%となっています。ヤングケアラーにあてはまるかどうかについては、子どもは85.8%が自身は「あてはまらない」と回答しています。おとなは95.1%が自分の家庭の子どもは「あてはまらない」と回答しています。

子ども おとな 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがあるか



5 子どもの意見表明・参加の機会について

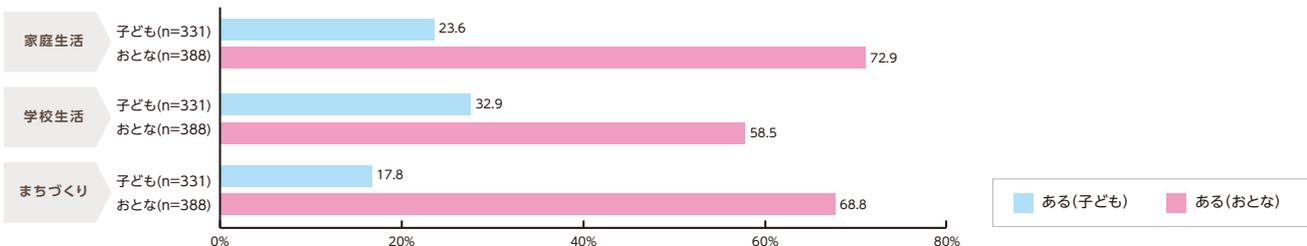
■もっと子どもの意見をきくべきだと考えるおとなは50%以上 子どもは30%以下

もっと子どもの意見をきいた方が良く思うことが「ある」と回答したおとなの割合は、家庭生活、学校生活、まちづくりにおいていずれも50%以上となっています。一方、もっと子どもの意見をきいてほしいと思うことが「ある」と回答した子どもの割合は、いずれもおとなに比べて低くなっています。

また、子どもが意見をきいてほしいと思う内容と、おとなが子どもの意見をきいたほうが良く思う内容には違いがみられます。

子ども もっと意見をきいてほしいと思うことはあるか

おとな もっと子どもの意見をきいた方が良く思うことはあるか



子ども もっと意見をきいてほしいことは何か (主要1項目)

おとな もっと子どもの意見をきいた方が良く思うことは何か (主要1項目)

子ども		おとな	
テレビの時間・ゲームの時間	41.0%	家庭生活	進路・進学先について 62.9%
校則(自分たちの学校のルール)の内容	66.1%	学校生活	授業(内容・進め方) 55.5%
文化会館や市民プールのような大きな施設をつくる時	66.1%	まちづくり	公園や児童館のような子どもがよく使う施設をつくる時 78.7%



11月20日は「たじみ子どもの権利の日」です!!



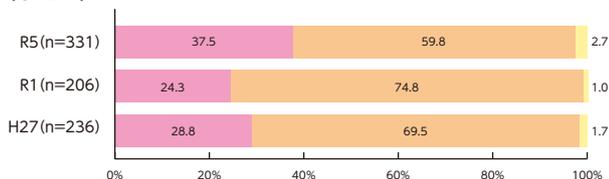
6 多治見市子どもの権利に関する条例について

■条例認知度 子ども37.5% おとな52.1%

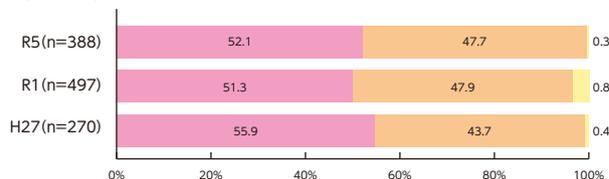
条例を知っている人の割合は、子どもは37.5%で前回から上昇しました。おとなは52.1%で前回から概ね横ばいでした。

子ども おとな 子どもの権利に関する条例を知っているか

〈子ども〉



〈おとな〉



7 子どもの権利の中で特に大切だと思うこと

■子ども「自分のことは自分で決められること」 おとな「自分も他の人も命を大切にされること」

子どもが子どもの権利の中で特に大切だと思うことは、「自分のことは自分で決められること」が38.4%で最も高くなっています。一方、おとなが子どもの権利の中で特に大切だと思うことは、「自分も他の人も命を大切にされること」が52.6%で最も高くなっています。

子ども おとな 子どもの権利の中で特に大切だと思うこと (主要3項目)

子ども	割合	おとな	割合
① 自分のことは自分で決められること	38.4%	① 自分も他の人も命を大切にされること	52.6%
② 自分の考えをいつでも自由に言えること	36.0%	② 自分の考えをいつでも自由に言えること	51.8%
③ 暴力やことばで傷つけられないこと	29.9%	③ 自分らしさが認められること	46.4%

相談窓口

多治見市子どもの権利相談室「たじみ子どもサポート」

子どもの権利についての相談窓口です。いじめ、体罰、虐待、子どもの生活の場でのトラブルなどの相談に対応し、子どもの健やかな育ちを守るため、関係者間の調整を図りながら、子どもの最善の利益を一緒に考え、助言・支援をします。

開設日 火～金曜日 / 13時～19時
土曜日 / 12時～18時
(火～土曜日の祝日も開室、年末年始を除く)

場所 ヤマカまなびパーク4階(多治見市豊岡町1-55)

LINE 多治見子どもLINE相談【ID:@200fkmnq】

電話 0120-967-866

E-Mail kodomosoudan@ob.aitai.ne.jp

困ったときは
相談してね!



多治見市
子どもの権利相談室
ホームページ



多治見
子どもLINE相談

ID:@200fkmnq

